



サラリーマンから税理士へ。

北海道の場合、税理士は税務署に長く勤務した国税従事者出身の人、あるいは親の後を継ぐ人、大学時代から志している人などが多く、私のように30歳過ぎまでサラリーマンをしていた者は、かなり珍しいのではないかと思います。

高校卒業まで旭川で過ごし、大学進学のため東京へ出ました。大学の経済学部を卒業後、財団法人日本総合研究所（シンクタンク）勤務を皮切りに、学校法人東京会計専門学校講師、竹中会計事務所、(株)オリジナルコンフィデンス（通称オリコン）を経て、税理士の資格を取得したのは32歳の時でした。



中央橋通を隔て、北海道立旭川東高校に隣接する中央総合会計。オフィスは、スタッフが顧客の対応に追われるなど活気がある。

井内 敏樹さん

税理士法人 中央総合会計 代表税理士 所長

決算書、申告書づくりだけでなく、お客さまに、その先にある「安心」を提供する 税務・会計のスペシャリスト集団。

なぜ税理士の道を目指したかと言いますと、自分にはサラリーマンは無理だなど思ったからです。人（勤務先）のために努力する能力が足りない（笑）のだと。であ

ば、自分のために生きてみよう。そう方向転換しました。きっかけは、携わっていたあるプロジェクトが終わり、土曜に皆でオフィスで、お酒を飲んで帰ろうとした時に訪れ

ました。なんと、電車のホームで倒れ、危うく轢かれそうになってしまったのです。その時、自分で「こんな生活を続けていてはダメだ」と思いました。終電で帰り、翌朝早く満員電車で揺られて

という生活スタイルでした。なんと、電車のホームで倒れ、危うく轢かれそうになってしまったのです。その時、自分で「こんな生活を続けていてはダメだ」と思いました。終電で帰り、翌朝早く満員電車で揺られてという生活スタイル

この仕事を自宅やアパートを借りて開始する人もいますが、私は



印象に残っている歌

東京でのサラリーマン時代、ふと車から流れてきた曲。当時の自分のツラかった境遇とどこか重なる気がして、自分にもいつか「そんな時代もあったね」と、笑って言える日が必ずくるだろうと、救われた一曲。

中島みゆきの「時代」

ともかく信用してもらいたかったため、お金もないのに最初から事務所を建設することに決めました。ところが建築中に、半ば頼みの綱であった父親が他界。体裁もあって女性事務員を雇用了ものの、まったく仕事がない有様でした。よく覚えていますが、昭和61年10月から翌年1月までの3ヶ月間、地元での仕事は一切なく、東京の税理士事務所からの紹介で札幌と帯広の案件を請けた2件だけの仕事で、途方に暮れる毎日でした。

機関の支店長の一人が見えられたのです。話は尽きませんでした。その間、顧問先がないので電話もきません。その時でした。急に不安になったのは、「1時間もここにいて、電話の1本もかかってこない事務所を支店長は不審に思うのではないか」と。そこで私はコツコツ事務員の女の子に頼んで、外の公衆電話から電話をかけさせ、いかにもというセリフ「女の子、出かけてしまったのかな」と、ブツブツ言いながら受話器を取る芝居をしました。

電話に關し、10年程前に猛反省をしました。気がつけば月曜の朝から引つ切りなしに電話が鳴るようになり、切ったと思っただけの電話。ついつい「また電話か」というような不機嫌な態度を取ってしまったことに気がつきまして。設立当初はそんな風に、しょっちゅう電話がかかってくる事務所になりたいたと夢見ていたのですから。それで、その日を境に「ツライ時でも喜んで」になりました。それと、このお話はもうしても良いかと思いますが、自分の中で

原實さんとある会合で一緒に、気にかけていただき、数日後に「ちょっと来てくれないか」となりました。仕事の依頼の打診でしたが、その時に提示された金額が、私の考えていた倍だったこともあり、その後どうやって事務所に戻ったのか、覚えていないほど嬉しかったですね。その時に初めて、地元で認められたという実感を持ち、自信を持って仕事をすることができますようになったと感謝しています。

私たちの商品は安心です。

旭川での最初のお客さまは、飲み屋のママさんのお兄さんが開業した会社でした。共同出資者との間で株を巡るトラブルがあり、その相談でした。現在も三代に渡り末永いおつきあいを継続中です。

開設当初の思い出話ですが、どんな会合にも積極的に参加し、また講演も何一つお断りすることなく全てお引き受けしました。金融機関の人たちとも懇意にしていた

おかげさまで税理士人生30年目を迎え、この間、税理士法人となり、社員数は24名、北見事務所を含めると総勢30名以上の税務・会計のスペシャリスト集団へと成長を遂げることができました。基本的に全員中途採用のスタッフで、中にはこの職種の経験と知識ゼロで飛び込んできた人もいます。税理士・公認会計士の有資格者は5名です。募集に関しては学歴、年齢などは不問です。最も大切なのは素直さと、人間として信頼できるかどうか。なぜなら素直でない



スタッフのみなさん

税理士法人 中央総合会計 旭川市7条通13丁目59番地4 ☎0166-25-4131 📠0166-25-4132

http://www.csk-i.com/ ■税理士登録/第56002号 昭和60年4月23日 東京都千代田区に井内会計事務所開設 ■主な業務内容/税務代理 会計業務 経営コンサルティング (経営革新等支援機関の認定 北海道総合M&Aセンター開設)

Company Profile

Personal Profile

井内 敏樹さん 昭和29年7月2日生まれ。旭川市出身。武蔵大学経済学部卒業。昭和52年、(財)日本総合研究所入社。その後、東京都内で数回転職する。昭和60年、井内会計事務所を千代田区に開設。翌年、事務所を旭川市に移転。平成21年、法人化するとともに代表へ。